

# イノシシのパラドックス

中央ヨーロッパの野生イノシシ  
チェルノブイリ原発事故（1986）以後  
放射能レベルが高い状態が継続

「イノシシのパラドックス」

シカなどの放射性物質は減少

セシウム137と135の比率は原爆と原発事故で異なる

イノシシのセシウムは**核実験由来が最大68%**

# 核実験の被害者救済

1945. 7. 16 ニューメキシコ州アラモゴード  
78年後

2023. 7 放射線被ばく補償法 拡大  
乳幼児死亡、重複がん、甲状腺がん、など  
3代にわたる被害

核兵器禁止条約（核実験被害者の救済などを含む）

# 核実験の数

米国 1127回

ソ連 726回

フランス 200回

英国 45回

中国 45回

その他 14回

(パキスタン、インド、北朝鮮 他)

計2157回

# 核実験の回数

Nuclear Explosion DataBase (NEDB)、  
包括的核実験禁止条約機関準備委  
員会 (CTBTO)

翻訳：新倉由久 編集：下郡美紀  
| REUTERS GRAPHICS

